令和４年度本庄市社会福祉協議会　事業報告

近年の新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、燃料費その他の生活物品の物価高騰等により、市内各世帯の家計はますます厳しくなり、地域社会への影響は長期化の様相を呈してきた。令和４年度は、孤立・孤独等の問題のみならず、こうした新たな問題が、地域生活課題をますます複雑化・多様化させてきたところである。

こうしたなか、各市区町村社会福祉協議会が窓口となり対応してきた「生活福祉資金特例貸付」は、令和４年９月末日をもって新規貸付の受付が終了したため、以降は借受者の償還への対応や、生活困窮者等に対する継続的な支援が求められている。当協議会では、市民に寄り添いながら、喫緊の課題等に対応するため、令和４年度も引き続き新型コロナウイルス対策応援寄附金等を活用して、生活困窮世帯や子育て世帯等の自立支援に積極的に取り組んできた。

また、地域では自治会連合会や民生委員・児童委員協議会等が、それぞれ工夫しながら見守り活動等を展開してきた。ふれあいいきいきサロンでも、徐々に再開に向けた動きが活発化してきたところである。当協議会は今後も市民、関係機関、団体等の皆様と連携・協働しながら、「地域共生社会」の実現を目指して、本庄市と一体的に取り組んでいる「ふくしの杜ほんじょうプラン２１」に基づき、計画目標の達成に向けて各種事業に着実に取り組むこととしたい。

主な事業実績

■財政基盤と組織体制の強化

（１）会員加入の促進と会費収入の強化

・『社協会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができた。

社協会費	令和４年度	前年度	前年比（%）
件　数	６，３８３件	６，５２３件	９７．９
金　額	５，６０４，１８９円	５，６２３，０６０円	９９．７
＜内　訳＞	・普通(個人等)　４，９９５件／１，４９９，８００円		
	・特別(個人等)　１，１１８件／２，９２７，９８９円		
	・法人(会社等)　２７０件／１，１７６，４００円		

（２）寄附金募集による自主財源の確保

寄附金	令和４年度	前年度	前年比（%）
件　数	７４件	８０件	９２．５
金　額	１，９６１，４７３円	１，７３５，１４３円	１１３．０

（３）自動販売機設置事業

販売手数料	令和４年度	前年度	前年比（%）
台　数	２台	２台	１００．０
金　額	３１，０３６円	３８，８０１円	８０．０

（４）広報活動の実施

・活動報告や制度の周知等を図るため、広報紙の発行などを行った。

○「社協だよりハート&ハート」の発行（年４回・市内全戸配布）

○ホームページの充実及び Facebook・Twitter での情報提供

○ふくしＰＲコーナーの設置

市内医療機関、飲食店、スーパー等にＰＲコーナーを設置、情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示にご協力いただいた。

設置数	令和４年度	前年度	前年比（%）
設置数	３７か所	２４か所	１５４．２

（５）地域福祉活動計画進行管理・次期計画策定準備

・ふくしの杜ほんじょうプラン２１の推進にあたり、地域福祉推進委員会（市地域福祉審議会と同時開催）を開催して、進行管理並びに次期計画策定に向けた基礎調査に関して審議いただいた。次期計画策定に向けた基礎調査として、市と合同でアンケート調査や地域住民を対象とした懇談会等を開催した。

○委員会開催（２回）

○基礎調査実施「市民、自治会、民生委員・児童委員、団体アンケート・地域福祉懇談会（市内１３小学校区）・次世代地域づくり会議（中学生・高校生対象）」

（６）各種職員研修の実施及び外部研修等への参加

・各種職員研修を実施し、また、埼玉県社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。

■高齢者福祉事業

（１）高齢者世帯等安否確認事業・友愛通信事業等

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の高齢者世帯（単身・二人世帯含む）及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配布し、安否確認と孤立防止に取り組んだ。また、日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯を対象に、年２回（暑中見舞いと誕生日）にボランティアが絵手紙を送り、郵便による友愛訪問を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
高齢者世帯等安否確認事業	９７６世帯	１，０１６世帯	９６．１
警察署と連携した見守り	１１件	１１件	１００．０
友愛通信	６９０世帯	７１６世帯	９６．４

（２）活動者導入促進事業（地域見守り活動の推進）

・自治会連合会と協働し、地域の見守り役として「活動者」の配置を促進した。

活動者導入促進	令和４年度	前年度	前年比（%）
自治会数	２０自治会	２５自治会	８０．０
活動者	４２３人	４３５人	９７．２

（３）ふれあいいきいきサロン支援事業

・自治会や身近な地域を拠点として、高齢者、障害のある方、ひきこもりがちな若者等、地域住民や同じ悩み・不安を抱えた者同士がボランティア等と協働して取り組む、住民主体の交流活動「ふれあいいきいきサロン」を支援した。また、サロン活動の周知啓発のため、情報紙「サロンにおいでよ」を発行し全戸配布を行った。

ふれあいサロン支援	令和４年度	前年度	前年比（%）
サロン数	７０か所	６５か所	１０７．７
参加者数	１，９７５人	１，７９３人	１１０．２
（うち世話人数）	４２２人	３７５人	１１２．５

（４）在宅福祉有償家事援助事業（ほんじょう助け合いサービス）

・在宅の高齢者世帯や障害者世帯等を対象に、掃除や買い物等の家事全般、外出介助等の支援を有償で提供する、住民参加型の家事援助サービスを推進した。

助け合いサービス	令和４年度	前年度	前年比（%）
利用会員数	６０人	４１人	１４６．３
（延べ利用人数）	３０８人	２７１人	１１３．７
協力会員数	４７人	２９人	１６２．１
（延べ活動人数）	２２４人	２１１人	１０６．２
訪問回数	１，１５６回	９０７回	１２７．５
（延べ活動時間）	１，１７５時間	９０７時間	１２９．５

（５）地域会食事業（レシピ集配布）

・コロナ禍でもおうち時間を楽しんでもらうために、本庄市食生活改善推進員協議会監修の「レシピ集」を、在宅で生活する高齢者世帯等のみなさまに民生委員・児童委員を通じて配布した。

レシピ集配付	令和４年度	前年度	前年比（%）
対象者数	９１７人	９１０人	１００．８
実施回数	４回	４回	１００．０

（６）介護者リフレッシュ事業

・在宅で高齢者を介護している方（介護者）を対象に、日頃の介護疲れを癒していただくために、マッサージ等施術費用助成券の配布と介護者交流会を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
マッサージ助成券配布	２７人	２４人	１１２．５
交流会（３回実施）	１０人	9人	１１１．１

■障害児（者）福祉事業

（１）福祉車両・車いす貸出事業

・障害のある方等を対象に、福祉車両や車いすを貸し出すことにより、外出の支援を行い、社会生活の利便性向上と生活圏域の拡大を図った。

貸出件数	令和４年度	前年度	前年比（%）
福祉車両	１４７件	１４６件	１００．７
車いす	１０６件	１１０件	９６．４

（２）児玉郡市手話通訳者派遣事業

・聴覚障害者とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者を派遣し、意思疎通の円滑化に努め、聴覚障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図った。

利用状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
派遣件数	８５０件	９７２件	８７．４
来所者数	４２７人	４００人	１０６．８

（３）「障がい者作品展」の開催（参加団体・施設数：１７団体／前年比１３０．8%）

・障害のある方の文化・創作活動を支援するために「障がい者作品展」を「ふれ愛祭」会場で開催し、障害のある方々が制作した絵画や手芸品などを展示紹介した。また、

ホームページ・Facebook・Twitter で周知した。作品展終了後、出展作品を掲載した障がい者作品カレンダーを作成し、参加施設へお渡しした。

■児童・母子福祉事業

（１）ファミリー・サポート・センター事業

・子育ての手助けを必要とする方と、子育ての援助ができる方を結び、保育施設や習い事等への送迎を中心に、一時的な育児援助活動を有料で行う会員組織活動を推進した。また、保育講習を開催して１４人が参加。そのほか「ふぁみさぽ通信第４号」を発行して全戸配布した。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
援助件数	１，７２１件	２，０１８件	８５．３
会 員 数	令和４年度	前年度	前年比（%）
① 依頼会員	１２１人	１１７人	１０３．４
② 援助会員	３７人	３６人	１０２．８
③ 両方会員	８人	７人	１１４．３
会員数合計	１６６人	１６０人	１０３．８

（２）赤い羽根共同募金事業

・未来を担う子どもたちの健やかな成長を地域で支えるため、赤い羽根共同募金を活用し、市内小学校の令和５年度新入学児童に対し、学用品（糊）の配布を行った。

実施状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
対象児童数	５６１人	＊新規事業	―

■ボランティア活動事業

（１）ボランティア養成講座等の開催

・手話奉仕員養成講座（１３人）、災害ボランティア養成講座（１１人）、福祉体験サポーター養成講座（８人）、ふくしフェスタ（２４人）を開催した。

開催状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
講座数	４講座	４講座	１００．０
参加者数	５６人	４８人	１１６．７

（２）夏のボランティア体験プログラムの開催

・学生の夏休み期間、中学生から社会人までを対象に、保育施設、障害者施設等でボランティア体験をするプログラム事業等を開催し、福祉体験活動に取り組んだ。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
施設ボランティア（２３施設）	４０人	未実施	―
ボランティアスクール（※）	３４人	２１人	１６１．９
おうちでボラ	１０人	６７人	１４．９
合　計	８４人	８８人	９５．５

※令和４年度ボランティアスクール２回開催（両方参加ボランティア１回のみ計上）

（３）福祉教育推進事業（「総合的な学習の時間」の支援活動等）

・小中学校における福祉教育の推進や学校と地域との協働による福祉体験の機会創出等を目的に、「総合的な学習の時間」の支援活動や、支援に携わる福祉ボランティアの

育成等に努めた。

出前講座	令和４年度	前年度	前年比（%）
小中学校（１１校）	２２回	１０回	２２０．０
学校以外	５回	２回	２５０．０
参加ボランティア数（延べ）	１０６人	６７人	１５８．２

（４）ボランティア啓発促進事業

・ボランティア情報紙の発行を通じて、子どもから大人まで、ボランティア意識の醸成に努めた（隔月年６回発行）。

（５）ボランティアセンター運営事業・災害支援ボランティア関連事業

・災害ボランティアの登録・募集を行うとともに、災害ボランティアセンターの運営に必要となる備品整備を行った。また、埼玉県社会福祉協議会等が開催する研修や訓練、令和４年９月台風１５号災害に伴う災害ボランティアセンター運営支援に職員２名が参加した。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
登録ボランティア数	６７人	１４７人	４５．６
（うち災害ボランティア数）	２３人	３５人	６５．７
登録団体数	６９団体	８７団体	７９．３
（うち災害ボランティア数）	１２団体	６団体	２００．０
災害対応力強化研修等	６回参加	４回参加	１５０．０

■相談事業

（１）心配ごと相談事業

・市民の心配ごとについて相談に応じ、問題解決を容易にするため各種社会資源を活用しながら生活相談を中心に住民福祉の向上に努めた。

利用状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
利用者数	４９人	６０人	８１．７
相談件数	５７件	６８件	８３．８

（２）結婚相談事業

１．結婚相談

・健全な結婚思想の普及、配偶者の紹介とそれに伴う相談等を行い、多くの出会いの場の提供に努めた（令和４年１１月末を以て事業終了）。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
来所者数（男性）	２７人	５１人	５２．９
来所者数（女性）	１７人	２５人	６８．０
登録者数（男性）	１７９人	１７９人	１００．０
登録者数（女性）	４０人	４０人	１００．０
お見合い回数	２回	１２回	１６．７

２．ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター

・結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する結婚支援センター（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター本庄）を開設し、入会受付や相談に応じた。また、婚活パーティー等のイベントを開催し、結婚に対する機運の醸成を図った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
登録者数（県）	１５，７２９人	１１，６０２人	１３５．６
（うち本庄市）	２８２人	２２６人	１２４．８
市在住成婚者数	９人	８人	１１２．５
来所者数（男性）	９３人	１３５人	６８．９
来所者数（女性）	５０人	７１人	７０．４
婚活パーティー実施数	１回	１回	１００．０
婚活パーティー参加者数	３９人	３１人	１２５．８
カップリング数	８組	６組	１３３．３
婚活イベント実施数	５回	２回	２５０．０
婚活イベント参加者数	１３８人	４８人	２８７．５

■生活福祉事業・権利擁護事業

（１）生活福祉資金等貸付事業

・福祉資金や生活福祉資金（コロナ特例貸付含む）の貸付を行った。

生活福祉資金等	令和４年度	前年度	前年比（%）
件　数	２８件	２５件	１１２．０
貸付額	１，１３６，０００円	１，１４３，０００円	９９．４
＜内　訳＞　【市社協貸付金】２１件／５９５，０００円 【県社協貸付金（緊急小口資金）】７件／５４１，０００円			
コロナ特例貸付	令和４年度	前年度	前年比（%）
件　数	１５９件	１，１３１件	１４．１
貸付額	５６，６５０，０００円	４８７，８００，０００円	１１．６
＜内　訳＞　＊緊急小口資金（８２件／１６，２００，０００円） ＊総合支援資金（７７件／４０，４５０，０００円）			

※令和４年度コロナ特例貸付：緊急・総合ともに初回申請のみ受付（９月30日まで）

（２）生活困窮者支援事業

・生活困窮者自立相談支援窓口を開設して、生活に不安を抱える方や経済的に困窮している方(生活保護受給者を除く)からの相談に対応、関係機関と連携しながら必要な支援を行った。また、彩の国あんしんセーフティネット事業、フードバンク事業、及び歳末たすけあい事業により、生活に困窮している世帯等への支援を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
自立相談支援事業（新規件数）	４５４件	６７５件	６７．３
あんしんセーフティ（新規件数）	９件	１９件	４７．４
フードバンク事業（延べ件数）	２３８件	３２１件	７４．１
歳末たすけあい事業（世帯数）	１２３世帯	１１８世帯	１０４．２

（３）権利擁護事業

・福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）及び法人成年後見事業を行い、判断能力に課題を抱えた方への支援並びに被後見人等の財産管理と身上保護を行った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
あんサポ利用者数	１８人	１９人	９４．７
あんサポ生活支援員数	４人	５人	８０．０
延べ訪問回数	３２５件	３５９回	９０．５
法人後見受任件数	３件	３件	１００．０

・本庄市成年後見サポートセンターの運営を市から受託し、成年後見相談、講演会、市民後見人養成講座等を行った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
成年後見相談（一般）	３９件	２１件	１８５．７
成年後見相談（専門）	２１件	１７件	１２３．５
講演会参加者数（配信含む）	７６人	８９人	８５．４
養成講座参加者数（※）	１３人	－	－

※令和３年度はフォローアップ講座を開催（参加者９名）

■介護保険事業・障害者総合支援事業

（１）ケアプランセンター・ヘルパーステーション事業

・ケアプランセンター、ヘルパーステーションを開設し、居宅介護支援事業、訪問介護事業等を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
ケアプランセンター（利用者数）	７４人	８０人	９２．５
〃（年間利用延べ人数）	８８７人	９５９人	９２．５
訪問介護（利用者数）	２４人	３３人	７２．７
〃（年間利用延べ人数）	２６５人	３３９人	７８．２
〃（訪問時間数）	２，８７３時間	３，１１８時間	９２．１
障害福祉サービス（利用者数）	１６人	１８人	８８．９
〃（年間利用延べ人数）	１９４人	２１４人	９０．７
〃（訪問時間数）	１，７１５．５時間	１，４８３時間	１１５．７

■地域包括支援センター事業

（１）包括的支援業務

１．総合相談

・高齢者に関する様々な相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介や調整などを行った。また「西包括だより」を発行し、相談窓口の周知や情報提供を行った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
相談件数（延べ）	５５９件	４５６件	１２２．６
訪問回数（延べ）	２０５件	１９１件	１０７．３
包括だより発行	１２回	１２回	１００．０

２．権利擁護

・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の紹介や情報提供等、高齢者虐待や消費者被害の相談に応じ、必要な対応を行った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
高齢者虐待対応件数（延べ）	２３件	４件	５７５．０
相談者数	１１人	３人	３６６．７

３．包括的・継続的ケアマネジメント

・高齢者への包括的、継続的なケアを実施するに関係機関の連携を構築し、地域の介護支援専門員への支援を行った。また、本庄地域ケアマネ会議６回・本庄西ケアサポート連絡会３回開催した。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
包括的・継続的ケアマネジメント会議	７回	９回	７７．８
介護支援専門員への相談支援	１５件	６件	２５０．０

４．認知症総合支援事業

・認知症高齢者や家族等の支援を行うため、地域における認知症の理解を促進し、認知症の方や家族、地域住民、専門職等の関係者同士の連携を図った。また、認知症普及啓発イベントに協力した。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
オレンジカフェ参加者数（10回）	１６９人	１４６人	１１５．８
認知症相談会開催	１０回	１０回	１００．０
認知症家族の会開催	１１回	１０回	１１０．０
認知症サポーター養成講座開催	６回	６回	１００．０
認知症ケア向上事業検討会議参加	１３回	１２回	１０８．３

（２）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・地域包括支援ネットワークの構築のため地域ケア個別会議を開催し、介護・医療・保健福祉サービスやインフォーマルサービスなど様々な社会資源との連携を図った。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
地域ケア個別会議開催	１０回	９回	１１１．１
取扱事例数	１７事例	１７事例	１００．０

（３）介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、その他

・指定介護予防支援事業者として、要支援１・２、及び事業対象者の方に対し、介護予防支援と介護予防ケアマネジメントを行った。また、在宅介護を行っている方等を対象として、介護に関する研修（介護者教室）を４回開催した。

運営状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
介護予防支援（延べ）	６６４件	６６４件	１００．０
介護予防ケアマネジメント（延べ）	５５０件	６１６件	８９．３
介護者教室参加人数（延べ）	５３人	２６人	２０３．８

■生活支援体制整備事業

（１）第１層生活支援体制整備事業

・生活支援コーディネーター業務を市から受託して、第１層協議体の運営（全体会１回・分科会１６回開催）や第２層協議体の支援等を行い、生活支援体制の整備に取り組んだ。移動支援をテーマに、タクシーを活用した乗り合いによる送迎支援や、既存のデマンド交通の電話予約の仕方を簡単にまとめたチラシ等を配布した。また、市内４圏域の地域ケア個別会議への参加や、社会福祉法人による移動支援及び個人事業主による移動販売車の運行に向けた支援等を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
サポーター養成講座参加人数	９人	９人	１００．０
サポータースキルアップ講座参加人数	２８人	１３人	２１５．４
県プラチナ・サポート・ショップ登録	１３０店舗	４４店舗	２９５．５

（２）第２層生活支援体制整備事業

・生活支援・介護予防サービスの開発や発掘のための取り組みとして、第２層（本庄西地域）生活支援体制整備協議体の活動を行った（協議体会議２回開催）。また、住民主体サービスの立ち上げ支援等を行った。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
まごころさぽーと活動報告	２回	５回	４０．０
県プラチナ・サポート・ショップ登録	１店舗	２店舗	５０．０

■新型コロナウイルス感染症関連事業

（１）寄附金の募集

・毎日の生活にお困りの方を応援したいといった声を受け、「新型コロナウイルス対策応援寄附金」を募集した。

寄附金	令和４年度	前年度	前年比（%）
件　数	２５件	２４件	１０４．２
金　額	１，８８１，５４０円	２，７７７，９４２円	６７．７

（２）フードドライブ事業・フードパントリー事業

・市民、企業等へ呼びかけ、配付する食品の寄附を募り、休業や失業等により収入減少となった世帯へ、無償で食品を配付するフードパントリー事業を実施した。

実施状況	令和４年度	前年度	前年比（%）
協力企業・団体	７件	１９件	３６．８
協力個人	２３人	５５人	４１．８
配付世帯	２６６世帯	１１５世帯	２３１．３
配付セット数	９４４人分	３３７人分	２８０．１

（３）クリスマスケーキ配付事業（５００世帯へ５００個を配布）

・市内のケーキ店が作った４号サイズのクリスマスケーキを、休業や失業等により減収となった子育て世帯（１８歳以下の子がいる世帯）へ抽選により配付した。

（４）おこめ券配付事業

・休業や失業等で経済的に影響を受けている１８歳以下の子を持つ子育て世帯、及び休業や失業等で経済的に影響を受けている世帯に対して全国共通おこめ券を配付した。

実施状況	令和４年度	前年度（２回実施）	前年比（%）
世帯数（※）	２０５世帯	５７７世帯	３５．５
配付枚数（※）	１，４３５枚	３，５７１枚	４０．２

※令和３年度は２回実施

（５）衛生用品の配布（計１０，５４０個配布）

・新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、さまざまなご事情で衛生用品を買えずにお困りの市民の方を支援するため、衛生用品を配布した。

■日本赤十字社事業

（１）赤十字会員募集活動【募集期間：５月～９月】

・『日本赤十字社会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができた。

会員種別	令和４年度	前年度	前年比（%）
一般会員	４，２３９，８００円	４，４０２，７６０ 円	９６．３
特別会員	４０２，５００円	３５６，５００ 円	１１２．９

（２）災害被災世帯支援活動

・火災に遭われた世帯へ、物資（布団・毛布・日用品）及び見舞金等を提供した。

内容	令和４年度	前年度	前年比（%）
救援物資提供世帯数（※）	４世帯	３世帯	１３３．３
見舞金等提供世帯数	５世帯	７世帯	７１．４
〃　金額（※）	８５，０００円	５０，０００円	１７０．０

※救援物資提供世帯数には、トルコ・シリア地震による避難１世帯を含む。

※見舞金等金額には、県支部から提供された死亡弔慰金４０，０００円を含む。

（３）赤十字地域支援活動

・自治会への災害救護用天幕（小）の配備や、赤十字奉仕団活動の支援を行った。